

モニュメント・デザイン「赤とんぼ・山田耕筈」へのCG活用

文教大学大学院情報学研究科 教授 高田 哲雄[†]

Tetsuo Takada[†]

あらまし モニュメントのデザインは空間造形デザインの世界では比較的艺术性を発揮できる領域である。2012年3月20日茅ヶ崎中央公園において「赤とんぼ」を作曲した山田耕筈の記念碑が建立されたが、その主たるデザインにCGを活用してきた過程を画像によって報告する。

キーワード：モニュメント・デザイン，CG，三次元空間，茅ヶ崎中央公園，赤とんぼ，山田耕筈

1. はじめに

2010年、当時湘南総合研究所所長であった国際学部教授若林一平氏の提案で文教大学湘南校舎付近の里山の自然を守る環境保全の会合が開催された。エコツーリズムの専門家である海津ゆりえ氏と博物館学の井上由佳氏、言語・記号学を専門とする岡野雅雄氏（いずれも本学教員）、生態学専門家の岸しげみ氏、イベントプロデューサーの木村清一郎氏（通称：十代さん）等が集まり自由な討論がなされ、様々なアイデアが提出された。筆者はその意見を参考に逐次デザイン化をおこないコンピュータ・グラフィックスによる視覚化（visualization）によって極力実体感覚で参加者が把握できるように努めた。



2. デジタルの原画による加工性

初期には走馬灯型の東屋（あずまや）を想定したデザイ

2013年3月6日受付

〒 253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100

mmtake@shonan.bunkyo.ac.jp

[†] Graduate School of Information and Communications,

Bunkyo University

1100 Namegaya, Chigasaki, Kanagawa 253-8550, Japan

ンを3DCGで制作した。周りにはトンボ型の透かしが入ったベンチを配置する予定であった。この段階で絵となる部分はデジタル化してその後の加工性を高めるようにした。



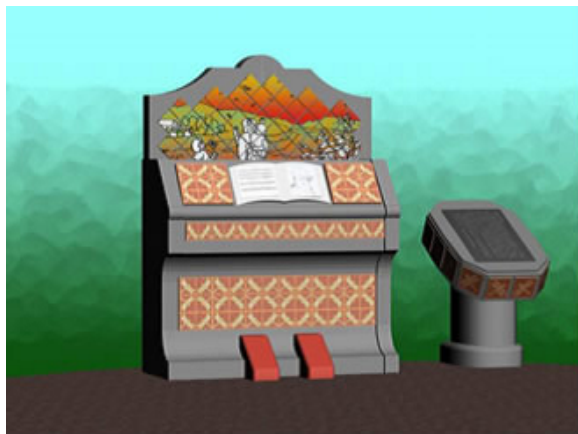
その後このプランは『「山田耕作」と「赤とんぼ」を愛する会』と合流し実質的なモニュメント制作の活動となり“童謡「赤とんぼ」の碑を建てる茅ヶ崎市民の会”に引き継がれた。高田が提案した明治・大正期に使用されたオル

ガンの形状が了承されたが、両脇にゴシック的な縦長の造形で時計塔のようなイメージを付加してみたが、山田耕柞氏の歌曲のイメージとは合わないという理由でこの案は避けられた。最終的にはかつての譜面台に似た形状の碑文を設置することになった。



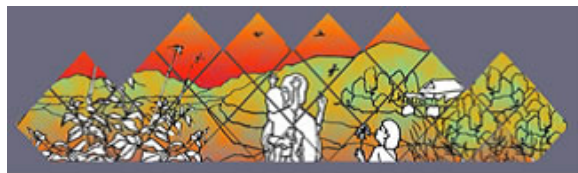
3. 3DCG によるフレキシブルな展開

また、タイルのデザインは赤トンボの赤色を逆に背景にして形の部分が白抜きになるように反転してみた。このシミュレーションも CG で容易に対応できるし連続模様のマッピングも 3D 空間で即対応可能である。もちろん実際の絵付けは一個一々彩色しなければならない。また上部の風景画についてもとりあえずデジタルのシミュレーションは可能であるが、実際には塗り間違いのきかない慎重さを必要とする。とくに今回は大正から昭和にかけてのイメージなので実際の彩色ではかなり重ねた色を使用し時間の経過を演出した。



4. おわりに

従来のデザイナー達にとって「提案したデザインのやり直し過程」の意味するものは基本的に「すべて描き直し」であった。もちろん CG を使ってもモデリングのやり直し



実際の完成写真

や手描きのマッピングデータの「やり直し」は基本的に原点からやり直さなければならない。しかし様々な工程においてそれまでに制作したデータの資産を活かすことが可能である。また、3D オブジェクトで作成することによって仕上がりの現実感が比較的容易に得られることが優位であり、特に視点調整を自在に行える点は第三者への理解を高めるために優位な条件になるといえる。

尚、この場を借りまして「赤トンボの会」の皆様、協力企業の皆様、また元湘南総合研究所所長若林一平先生をはじめとする本学の皆様のご支持に心より御礼申し上げます。



たかだ てつお
高田 哲雄 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。京都芸術短期大学映像芸術コース助教授等を経て、現在情報学部広報学科において情報表現系授業（3DCG、アニメーション、DTM、DTV 等のアプリケーションによる実践的指導）を担当。大学院情報学研究科においてデジタル・コンテンツ系科目として「3D コンテンツ演習」を担当。第 40 回国際アジア現代美術展出品のメディアインスタレーション作品でフジテレビジョン賞。2011 年第 47 回国際アジア現代美術展において立体絵画「モナリザの彫像画」で損保ジャパン美術財団奨励賞を受賞。亜細亜美術交友会常任委員、NPO 法人湘南市民メディアネットワーク理事、湘南新産業創出コンソーシアム運営委員、同大学間交流部会長、日本デザイン学会会員、日本映像学会会員、情報処理学会会員